

事例
1

I KOMAロボテック 株式会社 (津山市戸島)

- 業種：製造業
- 従業員数：56名（男性：47名 女性：9名）
- HP：<http://www.ikoma-rb.com/>

取組のきっかけ

少子高齢化が進むなか、人材確保の観点から従業員の会社満足度向上と女性の更なる活躍を図るためにワークライフバランスの取組を加速させました。また、現在は国の動向に合わせ働き方改革関連法に対応した取組も加速させています。

取組内容

- ・設計部門を中心としたフレックス勤務の導入
- ・個人別時間外労働管理と届出の一括管理
- ・従業員による人材紹介制度の導入（紹介者に報奨金を支給）
- ・年次有給休暇の計画的取得（メモリアル休暇として5日/年を年初に計画し取得。）
- …など

経営者や管理者の想い

仕事と私生活のバランスなくして人材の確保は有り得ません。従業員個々の会社満足度向上のために福利厚生は重要で、特に時間外労働の削減（軽減）は必須です。

また、子育て世代を中心とした女性の活躍は会社にとってではなくてはならない戦力であります。

その様な中で働きやすい会社、成果を認め合う会社、それぞれを補いあえる会社を目指して取組を行っています。

取組の成果（社員の感想など）

《設計担当の男性社員の声》「フレックス勤務により夏期に早期出勤（6時）を行い仕事の効率が向上したと同時に時間外労働が削減されました。その分早く退社する事が出来て、趣味の時間が確保できることは非常に良かったです。」

《製造担当の男性社員の声》「メモリアル休暇制度を使って休みを取りました。職場全体が事前に理解しているので気兼ねなく休むことができました。」

《製造担当の男性社員の声》「友人の紹介により入

社し社員登用されました。以前より興味のある仕事だったし、知り合いがいるので安心して転職することができました。」

《製造担当の女性社員の声》「育児中ですが職場の理解により基本的に残業ゼロとなりました。残業可能な日を申告することで気兼ねなく定時退社ができて気持ちが楽になりました。」

ワークライフバランスなどの取組を進めている結果、4～10月の平成29年と平成30年を比較すると、仕事量は122%と増加しているなかで、平均所定外労働時間が99%とほぼ横ばいであり、諸々の要因もありますが生産性が23%向上したと考えています。

今後の課題

時間外労働のさらなる削減に向けた取組が必要です。個人のスキルUPはもとより仕事の効率化に取り組む必要があると考えています。そのためにOJTを基本とした技能向上やマネジメントUPを積極的に行っていきます。

さらに、会社経営において人材は大変重要な要素であります。弊社は産業用ロボットの製造などの製造業を行っており男性職場であるとのイメージが強いのですが、男性のみならず女性の人材確保も進めるために、仕事と子育てや家庭が両立でき、女性も活躍できる職場づくりをさらに進めていき、製造工程への女性登用も積極的に行っていきたいと考えています。

